

電力自由化学習会

あなたは電力をどう選ぶ？

開催日：2016年6月29日（水）13:30～16:00
 会場：東京都消費者生活総合センター 17階教室ⅠⅡ
 参加人数：76名
 主催：東京都生協連 環境・エネルギー政策推進連絡会
 東京消費者団体連絡センター



平成28年4月から、電気事業法の改正により電力の小売自由化がスタートしました。ご家庭やお店の電気の購入先を自由に選べるようになったことで、あらためて制度の概要や、電力自由化が私たちの暮らしにどのように影響を与えることなどを学ぶことにより、それぞれの家庭にあった小売電気事業者の選び方について意見交換をしました。



□開会の挨拶

4月から電力自由化になり、生協でも組合員向けに電力供給を始めているところが、全国的に出始めました。組合員の意識調査では、料金に関して今より少し高めでも再エネと契約を希望されているという方が多いです。電気を選ぶにあたり、改めて仕組み・制度を学び、今後活かして下さい。
 東京都生協連 秋山事務局長



司会
 新日本婦人の会
 東京都本部
 根本かおるさん

●電力完全自由化って？

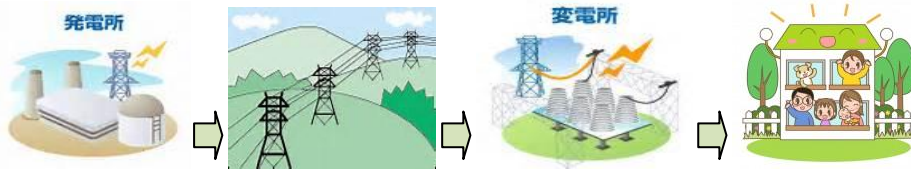
なかなか分かりづらい電力完全自由化の仕組みや制度、消費者としての注意点について、電気・ガス取引監視等委員会の新川達也さんにお話を頂きました。

電力・ガス取引監視等委員会
 取引監視課長
 新川 達也さん

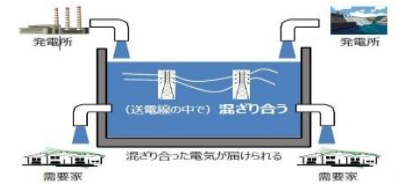


＜電力供給の仕組み＞

- 電力は発電所→送電線→変電所→配電線の経路をたどり、各消費者まで供給されます。
- 電力供給システムは、発電部門（発電所）、送配電部門（発電所から消費者まで）、小売部門（消費者とのやりとり）の大きく3つの部門に分類されます。今回の自由化は小売部門となります。



どの種類の電気でも送電線の中では混ざり合います。家庭で電気を使う際には、プールで混ざり合った水が水道水から出てくることと同様に、どの発電所で発電された電気か区別されずに届けられることとなります。つまり電気の質はどの発電方法であっても同じです。



＜電力自由化の流れ＞

- 2000年以降、電力小売りに関して段階的に自由化を実施してきました。2016年4月からは、一般家庭・コンビニ等向けの新規参入が可能になり、一般家庭を含む全ての需要家が小売電気事業者や料金メニューを自由に選択できるようになりました。現在363事業者が登録されています。

＜電気を購入する時注意すべき点＞

- 小売電気事業者は国の登録を受けなければ販売できません。登録されているか確認してください。
- 毎月の電気料金はいくらか、どうやって算定するのか・契約期間内に解約する場合の制約はあるのか、解約手数料などは発生するかなど小売業者は消費者に説明しなければなりません、契約内容を良く確認してください。
- 「電気を今安く売るから1年分前金を」と言われた。「解約を申し出たところ、法外な解約料を請求された。「電気と他の商品とのセットにすれば安くなる」と言われセットで買わされた等、悪質な事業者や詐欺も多発しています。問題がおこったら電力・ガス取引監視等委員会までご連絡してください。

＜参加者の声＞

- 沢山の資料やアンケート調査のまとめ等、情報量を消費者に分かりやすく説明されて、理解できました。
- 来年のガス自由化のことも気になるので、引き続きアンテナを高くしながら、情報収集もしていきたいです。



電力会社のかしこい選び方

消費者庁
消費者調査課長
澤井 恵子さん



私たち消費者が価格だけではなく、様々な視点を持ってかしこく商品やサービスを選ぶための視点として「電力自由化とエシカル消費」について、消費者庁消費者調査課長の澤井恵子さんにお話をいただきました。

消費者の自立支援から消費者市民社会を構築していくためには、自分の消費行動が社会に影響を与えることを、自ら意識・理解して自立していくことが大切です。そのひとつが「エシカル消費」です。「エシカル」とは論理的・道徳的を意味し、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組み事業者を応援したりしながら、消費行動を行なうことを指します。「エシカル消費」の例としては、障がい者支援やフェアトレード、環境配慮や地域活性化につながるものを購入することなどが挙げられます。多くの小売電気事業者から様々なメニューが出されていますので、価格だけではなく環境配慮や社会貢献の視点などいろいろな面を比較して選択下さい。

《参加者の声》

- 「エシカル消費」生協の組合員としてより良い暮らしを求めている事が先駆的だった。
- 消費者市民社会を変える自覚を消費者がもっと考えなくてはいけないと感じた。

自分の生活に当てはめよう！

グループワーク

6つの電力会社のメニューをもとに、事例にあてはめながら何を選ぶか？について意見交換しました。9つのグループに分かれ、意見交換後は代表として3つのグループから報告をしてもらいました。

□グループA

- ・条件比較検討をした場合ほぼ同等であれば、契約解除の時にどれだけリスクが少ないかを細かく見極める必要があります。
- ・エシカルの視点では、できるかぎり再生可能エネルギーの契約をしたいです。
- ・スマートメーターを電磁波が気になります。絶対に付け変えなくてはならないのか教えてください。

□グループF

- ・料金形態を見ると少人数世帯の方が電気料金が高めと感じました。
- ・セット料金（携帯等含む）の比較に関して、気をつけるようにしたいです。
- ・エシカル消費の視点で、産直商品と同じく再生可能電力を選択したい、原発を使った電気は選びたくない等意見が出されました。

□グループH

- ・再エネを選ぶ際には電源構成のうち、どの程度が再エネなのかその率にも着目したいです。
- ・来年ガスの自由化になり、また複雑な問題を考えなくてはいけないのでまた機会を作って学習したいです。

グループワークを終えて、新川さんからの回答・感想を頂きました。

- ・スマートメーターは、計画的に全家庭への変更2020年を目途にしています。電波の安全性は、PHS1台分がぶら下がっていると聞いています。
- ・使用料の低いご家庭では現状のままで良いとおもいます。セット料金は、何とセットするのがよいか良く考えて契約して頂きたいです。
- ・消費者の声によって、制度や商品は変わってきます。皆さんの声をお寄せください。
- ・2017年4月からガスが自由化になります。選択が難しくなってきます。消費者がトラブルに合わないよう全力で対処していきます。

□閉会の挨拶

4月から自由化になり、何をどう考えれば良いかの中で、全国消費者団体連絡会として「電源構成等の情報開示に関するアンケート」の調査を行いました。何をどう考えて電気を選ぶかでは価格と再エネが一位でした。価格は計算等で出せますが、再エネでは、開示されなければ選べません。しっかりとした表示を事業者に求め、持続可能なこれからの社会に向け、何を選ぶのか考えて行きましょう。

東京消費者団体連絡センター
橋本恵美子さん

